

「カーボンリサイクル技術・製品の環境価値に係る国際連携に関する調査」

過去に頂いたご質問

No.	質問	回答	更新日
■調査			
1	本事業においてNEDOが考えている“CR環境価値”の定義を教えてください。	CRの環境価値は一般的にはCO2削減量やその効果を示します。本事業においてもそれは同じですが、この事業では、CO2削減量のような狭義な定義ではなく、環境価値が有する社会的効果や社会への波及効果などの可能性を含めた広義なものとして考えています。	
2	現地でのヒアリングは想定されているか。	現地でのヒアリングの実施は、調査事業の一環として想定しますが必須ではありません。より効果的な情報収集や調査方法などございましたらご提案をお願いします。	
3	「CR製品の海外取引に関する国際的な議論を進めるため・・・」とありますが、本邦技術で生み出されるCR製品の日本の貿易について検討するのか、あるいは国際市場におけるCR製品の取引について議論するのかどちらですか。	国内CR製品の海外取引に関する論点と国際市場におけるCR製品の取引に関する一般的な論点の両方になります。	
■実施体制			
1	再委託は許容されるか。	NEDOの規定により、再委託は全体の50%を超過しない範囲で可能です。	
■日本キャラバン構想(仮称)における「委員会」			
1	委員会への招集人数の目安	より効率的と思われる人数をご提案ください。	
2	委員会の開催頻度	2～3ヶ月に1回程度を想定	
3	謝金の要否、金額の目安	謝金の要否を確認いただき、NEDOの規程に準じた金額でお支払いいただくこととなります。提案時点の積算では貴社の規程があれば、その規程に基づき支払う積算にさせていただいて結構です。	
4	キャラバン構想委員会の委員への会議体への参加依頼や共同研究依頼が許容される理解で良いか。	キャラバン構想の委員の方々には必要に応じて会議体への出席、共同研究への参加を依頼します。	
5	外注・再委託先として、キャラバン構想委員会の委員を選定することは想定しているか。	本事業におけるキャラバン構想の取組みに関して、ご意見や助言をキャラバン構想委員会の委員に求めることを想定しており、本事業の基盤となるため、外注（再委託先）として選定することは想定していません。	
6	日本キャラバン構想の取り組みとして想定されていることを可能な範囲で教えてください。	日本からのプレーヤーは経済産業省、NEDO、研究機関の関係者で、相手方は米国、カナダ、豪州、アジアの研究機関を想定しています。本事業は2024年度から始まる事業であり、まずはパートナー国や国際機関との体制/素地づくりから始める想定をしています。	
7	「日本キャラバン構想を議論する委員会等の体制整備・・・」とありますが、別公募の「カーボンリサイクル国際会議」との連携は考えてでしょうか。	そうすることが本事業の取組みにおいて有効な活動となる場合はご提案ください。	
■アクションプラン2030			
1	簡易的であってもLCAを実施することを想定されているか。	想定しています。実際には相手国や団体の状況を調査し、その結果を踏まえて検討します。	
■共同研究			
1	共同研究とはどのようなものを想定されているか。	共同研究は政策、技術、社会実装など様々な観点で求められますが、パートナーとなる国や団体の政策、技術開発等の状況により共同研究のスタイルは異なりますので、アウトプットも本事業期間中は検討会の延長を想定しています。	
2	研究成果の公表の範囲	NEDOの調査において成果報告書は原則公開ですが、非公開の成果報告書も作成することが出来ます。	
3	各研究機関（ARPA-E、SCIRO、NRC、ERIA）への委託研究費の支払い想定の有無と金額の目安	各研究機関との実施内容をご提案いただくとともに、それに要する金額も積算にてご提案ください。	
■国際会議			
1	相手国の数だけ会議体を設ける理解で良いか。	相手国の数だけ会議体を設けることも、既存会議体を活用することも可能です。また、国単位だけではなく、国際的機関や複数国との会議体を提案することも可能です。	
2	開催時期や頻度はどの程度を想定されているか。	開催時期は未定ですが、相手国、団体ともに本事業期間中に各1回程度の開催を想定しています。	
3	相手国全て集めて行う会議開催も想定されているか。	相手国すべてを集めて行う会議開催や既存会議を活用した開催が事業遂行上効果的であるということであれば、ご提案ください。	
4	現地開催かWebベースどちらを想定されているか。	基本的には対面開催を想定しています。開催場所は、相手国や団体と調整して決定します。	